

令和7年度 竹田教育事務所 実践事例の紹介

1人1台端末を活用した実践事例

豊後大野市教育委員会

豊後大野市

小・中学生プレゼンテーションコンテスト

地域の魅力や課題を踏まえた内容のプレゼンテーション資料を作成し、発表する

【R7年度 参加校】

☆小学生の部(12チーム)

- 菅尾小学校 4年 1チーム
- 緒方小学校 4年 2チーム
- 三重第一小学校 5年 1チーム
- 百枝小学校 6年 2チーム
- 三重東小学校 6年 1チーム
- 新田小学校 6年 2チーム
- 千歳小学校 6年 3チーム

☆中学生の部(5チーム)

- 緒方中学校 7年 2チーム
- 犬飼中学校 8年 1チーム
- 千歳中学校 8年 1チーム
- 三重中学校 9年 1チーム

講評より

Point 1 児童生徒の情報活用能力・表現力、指導する教員のICT活用指導力の向上

Point 2 1人1台端末の効果的な活用方法の普及

小学生の部



図・表・グラフ・写真・イラストなどを効果的に活用し、笑顔で堂々とした発表が多く見られる。

中学生の部



伝えたいことが明確で、体験や調べたことなどを説得力のある伝え方で発表している。



★コンテストの目的★
自分たちの活動の成果や経緯を伝える発表や報告をする



「相手の行動を促すこと」ができる

- 総合的な学習や平和学習の時間での体験から感じたことを自分の言葉にして伝え、自分たちで考えた「できること」を行動に生かそうとする発表は、メッセージ性が強く説得力もあり、聞き手にその思いが伝わってきた。
- 地域の魅力発信のために、地元の方と協力して商品開発したり、キャラクターを作ったり、外国の方にアピールするために英語を使ったりと、発想力が豊かでひきつけられる発表があった。
- 堂々と前を向いて話したり、適切な声の大きさや豊かな表情で話したりと、表現力もすばらしかった。伝えたい内容の具体物を提示したり動作化したりする工夫が魅力的であり、特に小道具を用いての表現は会場が大いにわいた。
- 今年度は参加校数が増えたので、来年度も引き続き多くの参加を期待している。